

小山ろくろ

奮闘記 No.2 おやま緑郎 県議会活動報告



視察で訪れた熊本県庁にて

小山ろくろ
プロフィール

昭和35年2月9日生まれ 60歳
中仙町議会議員を経て
平成21年9月 大仙市議会議員 初当選
// 25年9月 大仙市議会議員 2期当選
// 29年9月 大仙市議会議員 3期当選
// 31年4月 秋田県議会議員 初当選

春は名のみで、まだまだ外は寒いです。
皆様、どうぞお体にはお気をつけください。

建設委員会の県内調査

住民の安心・安全な暮らしのために
災害に備えた強靱な県土づくりを目指して参ります。



斉内川

斉内川で推進している
流域治水対策河川改修事業を視察



土質川

H29年7月・8月の大雨で護岸等に被害を受けた土質川の河川災害復旧事業を視察



国道105号

安全な通行と快適な道路環境づくりを進める、国道105号道路改修工事を視察



意見交換会

仙北地域の現状と課題、今後の方針等、様々な意見を出し合いました。

県外調査

令和元年11月20日～22日の日程で、福岡県・熊本県を訪れ、熊本市及び南阿蘇村における熊本地震被害からの復興状況などについて調査しました。



熊本城にて



阿蘇大橋にて



福岡市役所にて



博多港中央ふ頭にて

昨年の「令和元年第3回定例会9月議会」において、一般質問に登壇しました。

河川災害への対応について — 県管理中小河川の減災対策について —

Q 河川災害を含めた災害に強い県土づくりを進めていく中で、築堤や嵩上げなどの恒久的な治水対策と併せて、中小河川における浚渫工事や伐木等のきめ細かな維持管理による減災対策が必要と考えるが、現在の取組状況と今後の対応策について、知事に伺う。

A 知事 過去の浸水被害発生状況や巡視により把握した危険度、市町村からの要望等を総合的に考慮した上で、優先順位をつけながら、県単独事業による河道掘削や伐木等を計画的に実施している。国へ必要な予算の確保を働きかけながら、引き続き、計画的、効率的な減災対策に取り組んでいく。

農業次世代人材投資事業への対応について

Q 新規就農者の確保・育成に向けた農業次世代人材投資事業の予算について、国から十分な配分が受けられていないと聞いているが、県内における交付状況と県の今後の対応方針について伺う。また、全額交付に向けて国へ働きかけるべきと考えるが、知事の見解を伺う。

A 知事 現段階での本県への配分額は3億8千万円、配分率も9割にとどまっているため、5月には私自ら農林水産大臣に予算の確保を要請したほか、あらゆる機会を通じて国に働きかけている。本県農業が将来にわたって発展していくためには、次代を担う新規就農者の確保が不可欠であることから、必要額の配分について、引き続き国に強く要望していく。

その他、「若者等の就業支援の促進について」、「保育士の処遇改善について」、「介護人材の処遇改善について」などを質問しました。

自由民主党秋田県大仙市仙北郡第一支部

〒014-0712 秋田県大仙市豊岡字大野中37-3
TEL 0187-49-8166 FAX 0187-49-8167
E-mail : rokuro.oyama6960@sage.ocn.ne.jp

Link 県民と自由民主党会派をつなぐリンク

発行/令和2年2月1日
ご質問、ご意見をお聞かせください。
編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号[県議会内]
電話 018-860-2040 FAX 860-2102

Link

2020.2 No.36

— 令和の時代の新しい秋田創りを —

ごあいさつ 自由民主党会派 会長 鶴田 有司

新春にあたり県民の皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。
私たち県議会自民党会派は県政が掲げる、未来へつながるさと定住回帰、果敢に挑む産業振興、攻めの農林水産業、訪日外国人との交流拡大、元気に活躍できる健康長寿・地域共生社会などの重点戦略に関わる政策の実現と、経済・雇用対策の充実強化を進め新しい秋田創りを目指して参ります。
近年の自然災害は、従来では考えられない規模と地域で発生し、防災・減災の強化が必要不可欠となりました。県民の安全・安心のため、国土強靱化や北朝鮮によるミサイル発射の脅威の問題などに、自民党国会議員とともに力を合わせて取り組んで参りますので皆様からさらなるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

今年56年ぶりの2020東京オリンピック・パラリンピック大会の開催で、明るく感動的な年となるよう期待されています。県民の皆様お一人おひとりととりまして、素晴らしい一年となりますよう、ご祈念申し上げます。



秋田県議会議員
建設委員会委員
小山 緑郎

皆様方におかれましては、希望にみちた新年をお迎えることとお慶び申し上げます。去年は、ひとかたならぬご協力、ご支援を賜り感謝申し上げます。どうか今年も宜しくお願い致します。

引き続き災害に強い街づくり、農業、工業、商業に対する支援、介護士、保育士への処遇改善、高齢化社会に向けた地域づくりと、将来を担う子供達の健全育成を図るため尽力する覚悟でありますので、地域住民の皆様方のご支援、ご協力、宜しくお願い致します。